多田の里 だ よ り

多田小学校通信　　令和４年 11 月 30 日号　ミマモルメ配信

音楽参観、そして・・・

　１１月２２日２３日、久しぶりの音楽参観（以前は音楽会）を何とか終えることができました。コロナウィルス感染症への対策が常に必要な中での実施でした。以前であれば配慮することもないことに工夫が必要となり、人数制限、学年入れ替え制、座席指定、消毒作業等、どこまですればいいのか、担当教員たちの苦悩が当日まで続きました。何が正解かわからない日々が続いています。時とともに正解と思われることが変化していきます。それでも、子どもたちと教職員たちの緊張と笑顔が私たちの答えではないかと音楽参観を終えた次の日に思いを巡らせていました。

　そんな日の１，２時間目。５，６年生が楽器の搬出や、体育館の片付けを行ってくれました。準備があれば片付けも必ずついてきます。それぞれの学年の子どもたちと先生たちが力を合わせて気持ちよく行ってくれました。しかし、５年生も６年生もどちらの学年の先生たちも本気モードになる場面がありました。それはまとめていうなら『気持ちゆるんでない？』『いい加減になってない？』という子どもたちの学校生活への問いかけでした。

　気がつけば６年生にとって、卒業まで４カ月という時期です。もう折り返しはとうに過ぎています。何か漠然とした不安と浮遊感が漂います。そのことについて先生たちから子どもたちへの本気モードのコミュニケーションでした。思いを伝えたい人がいて、マスク越しだけど言葉を発します。その音には強弱があり、手や身体も動きます。顔も目も動きます。体全部を使って相手に伝えようと勝手に動きます。口から発せられる音も身体の動きもすべてをとらえて聞く側はその意味を感じ取ります。しかし、これは聞く側が聞こうとしない限り成立しない関係性でもあります。そのことを先生たちは言葉を換え全身を使い伝えていきます。日ごろは気にしないコミュニケーションについて子どもたちに問いかけます。『これでいいのか？』子どもたちも真剣に考え返します。そんなコミュニケーションが教室で繰り返されることにより、心地よい空間を作り出すきっかけになるのではないでしょうか。子どもたちと先生たちは、コミュニケーションを通して問いかけ合います。残り少ない日々が充実した穏やかな時間になることを期待できる朝の出来事でした。

今後の予定について

11 月 30 日現在　各学年の予定は学年だよりをご覧ください

幼小連携？

　音楽参観には、多田幼稚園の子どもたちが応援に来てくれました。未来の多田小生たちです。今度は多田小の子どもたちが休み時間に多田幼稚園のおすし屋さんを訪問しました。園児のみなさんがおもてなしをしています。小学生がとっても楽しそうです。『昼休みも来ていい？』充実した時間の証拠です。遊び？学び？癒し？どれでも良い気がします。幼も小も子どもたちが主体であること。とっても大切な観点です。